

10. 睡眠時無呼吸症候群

11. 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

Q2 基礎疾患（持病）を持っているのですが、ワクチンをうけることができますか？

A2 基礎疾患があるから、受けることができないというわけではありません。しかし、病気の種類や病状の重さによっては、接種を慎重に検討した方がよい場合があります。かかりつけ医とワクチン接種をするメリットとデメリットについて相談し、接種するかどうかを判断してください。

Q3 薬を飲んでいますが、ワクチンを受けることができますか？

A3 ワクチン接種ができないという薬はありません。抗凝固薬（血液をサラサラにする薬）などを飲んでいる方は、注射部位を2分以上しっかりと押さえていただく必要があります。内服薬が当てはまるかどうか不明な場合は、かかりつけ医などにご確認ください。

Q4 基礎疾患（持病）がありますが、副反応は強く出ますか？

A4 基礎疾患（持病）があることによって、副反応が強く出ることはないと言われています。基礎疾患（持病）をお持ちの方は、新型コロナウイルスの感染や発症、重症化のリスクが高いため、ワクチン接種をするメリットとデメリットについて主治医と相談し、接種するかどうかを判断してください。

Q5 アレルギー体質ですが、副反応は強く出ますか？

A5 ワクチンの成分にアレルギーのある方は接種を避けてください。それ以外のアレルギーの方は、アレルギーのない方よりも副反応が強く出る可能性は否定できませんので、主治医や接種を行う医師に相談してください。接種される場合は接種後の経過観察をより慎重に行いますので、予診票に記入してください。また、接種場所については個別接種をおすすめします。

Q6 基礎疾患を証明するために診断書は必要ありますか？

A6 診断書は必要ありません。予診票に記入していただき、問診で病気や治療の状況を確認します。基本的にはワクチン接種後の経過観察は15分以上となっていますが、基礎疾患のある方は30分以上経過観察をします。安全に接種を行うことができるよう、正確に伝えてください。そのことによる不利益はありません。